E

F

E） ホイール⑩を両側に置き、ピン⑪を差し込みます。
※ホイールはロゴマークがある方を外側にします。
F） 六角レンチを使用して、ボルト･ナットを固定します。
※ホイールが動かない場合や、ガタが多い場合にはプラスチックワッシャーの向きを上下・左右入れ替えてください。

⚠ 注 意

フロントスタンドは必ずリアスタンドと併用して使用してください

使 用 方 法

- スイングアームの幅に合わせて受け部・フック部を調整します。（左右均等になるようにしてください）
- アジャスト固定ノブを確実に締め込んで、受け部・フック部を固定します。
- 車体をまっすぐに安定させ、受け部・フック部が確実に支えている事を確認した上で、リフトアップします。
- 車体を揺らして安定している事を確認してから、作業を行ってください。
- スイングアームの高さが左右で異なる車輌には使用しないでください。

⚠ ご 注 意

- 作業を行う際は、必ず水平な場所でスタンド及び車輌を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
- スイングアームの幅に合わせて受け部・フック部を調整し、アジャスト固定ノブを確実に締め込んでください。
- スタンドリフト時はスイングアームの受け部、フック部が確実にかかっている事を確認した上で、リフトアップしてください。
- リフトアップした状態でエンジンを始動しないでください。（振動で受け部・フック部が外れる恐れがあります）
- リフトアップした状態で乗車しないでください。（重量オーバーによりスタンドが破損・変形する恐れがあります）
- リフトアップした状態でハンドルを左右に切らないでください。(リフト固定位置にずれが生じ、受け部・フック部が外れる恐れがあります)

⚠ 警 告

- ご使用ごとに各部を点検し、以下の症状が見られた場合は直ちにご使用を中止し、新品と交換してください。
  - ※ スタンド本体に変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
  - ※ 受け部・及びフック部に変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
- リフトアップ時に振動やハンドルを左右に切ることにより、スタンドが移動する場合があります。使用時でもこまめに点検してください。
- 最小幅以下では使用しないでください。(受け部が破損・変形する恐れがあります)
- 商品への加工は施さないで下さい。(強度が落ちる恐れがあります)
- クレームに関しては商品に不良があった場合に限り、お買い上げ後1週間以内を限度として、修理及び交換をさせていただきます。
  但し、商品以外の損失・損害についてはその責を負いかねますのでご注意ください。

Bike-Lift®

RS17-S

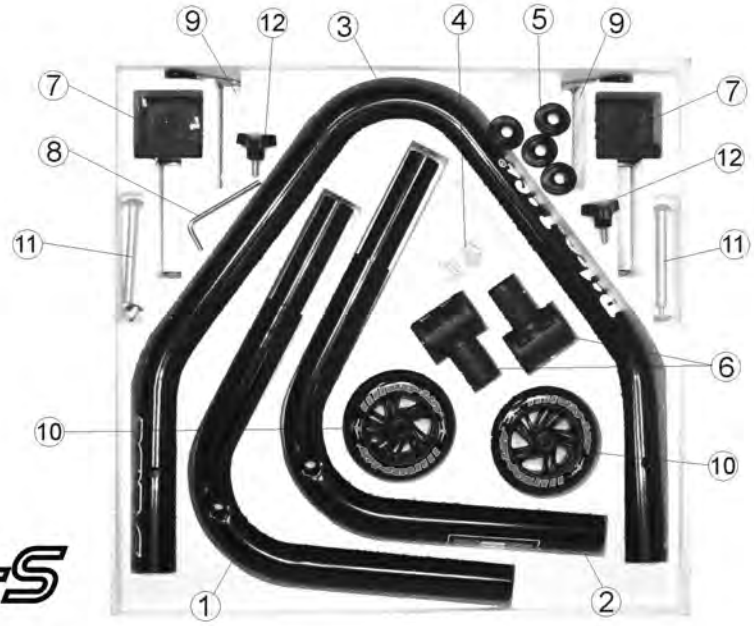
リアスタンド

取扱説明書

本製品の内容は平成24年06月現在のものです

株式会社 アクティブ
〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561)72-7011 FAX (0561)72-7012
URL http://www.acv.co.jp

120615K1T00



RS17-S

リアスタンド

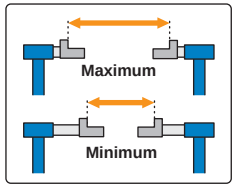
リアスタンド仕様書 / 特徴

■ 仕様書

スチールパイプ製: 外径 ▪ : φ32
色:BLK 耐荷重 ▪ :250kg以内
重量 ▪ :4．0kg

■ 使用幅

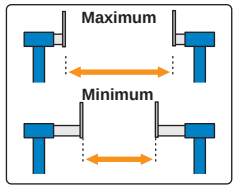
○ ユニバーサルタイプ



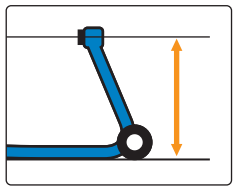
タイプ	Maximum	Minimum
ユニバーサル	34.5cm	27.0cm
Vフック	37.5cm	30.0cm

注意:最小幅以下では使用しないでください。

○ Vフックタイプ



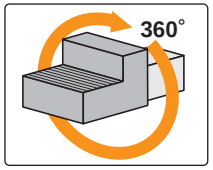
■ リフターの高さ



タイプ	受け部の高さ
ユニバーサル	34.0cm
Vフック	36.0cm

※タイヤウォーマーを使用しやすい事も考えた高さ設定です

■ 特徴



点ではなく面で支持するLタイプを採用。
360° 回転することでリフト時の安定感も抜群です。

長さ違いのVフックを採用。
リフトスピードを格段に速くします。
注意:Vフックの長い方を前側にしてください。

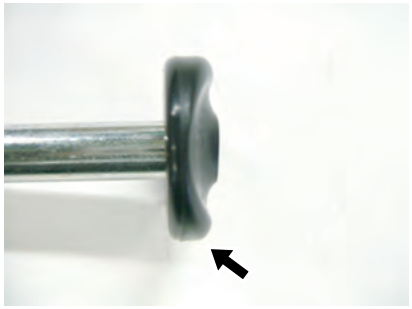
スイングアームの幅に合わせて簡単に調整が可能です。

■ 組み立て手順

A） レッグ①と②をハンドル③に差し込み、六角レンチ⑧を
を使用してネジ④で固定します。
※タイヤ取り付け後、左右のタイヤが水平になるように
レッグの角度を調整しボルトを締め付けてしてください
B） T字ナイロンインサート⑥を差し込み、レッグ①または②
の穴と合わせて六角レンチ⑧を使用してネジ④で固定
します。

C） 受け部⑦及び⑨をT字ナイロンインサート⑥に差し込み、使用する位置でスクリューノブ⑫で固定します。
D） プラスチックワッシャー⑤の平面側を外側にして、ホイールピンの差し込み穴の左右に置きます。

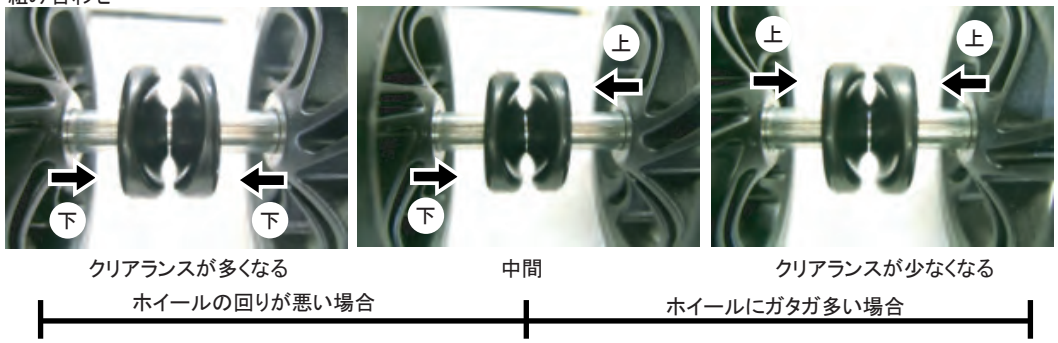
■ホイールのクリアランス調整方法



プラスチックワッシャーにマーキングのある方が厚みが厚くなっています。

ホイールの回り具合によってプラスチックワッシャーの向きを変えます。

組み合わせ



クリアランスが多くなる　中間　クリアランスが少なくなる

ホイールの回りが悪い場合　ホイールにガタガ多い場合